

平成26年第4回定例会

一 般 質 問

古殿町議会

平成26年第4回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
12 月 17 日	1	岡 部 淳 一	日本共産党
	2	佐 川 勇 司	無 所 属
	3	佐 藤 弘 信	無 所 属
	4	緑 川 栄 一	無 所 属
	5	高 木 節 男	無 所 属
	6	佐 藤 一 夫	無 所 属
	7	鈴 木 一 郎	無 所 属
	8	木 戸 久 康	無 所 属
	9	関 根 角 男	無 所 属

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	7 番 岡部 淳一	1. 流鏑馬の町づくり の中で起きている 問題 (町 長)	(1) 建物（馬小屋）などの契約の点について (2) 流鏑馬保存会・宮田馬事と町との関連について (3) 施設の継続使用を主とした宮田馬事との話し合いは、町が主体となり方向性を示すべきでは。 (4) 建物同様、馬の所有権も町が持つべきではとの意見もあるが考えは。
		2. たび重なる鳥獣被害 と対応策 (町 長)	(1) 把握している被害状況の明細は。 (2) 町民による被害対策として取り組まれた具体的内容と支援金額は。 (3) 鳥獣被害特措法関連での取り組みとは何か。 (4) 拡大する一方の被害について猟期内・猟期外の取り組みは。 (5) 次年度の予算措置として年内を通して一定額の支援をすることが望まれています。この措置についての考えは。 (6) 他町村と連携する形での対応が、地域的に進められています。石川郡内での話し合いの状況は。
		3. 今年度から来年度 に係わるいくつか の施策について (町 長)	(1) 米価暴落による農家支援について現在までの協議と支援の有無は。 (2) 来年度から認定こども園としての運営となります。これまでと大きく変わることはないとの説明を受けましたが、ここにきて保育料の体系が変わるかの様な話が再燃していると聞きました。変更するのですか。 (3) これまで数年にわたって実施され、大きな成果をあげてきた緊急雇用対策事業が終了するとのことですが、雇用問題とも絡み継続を望む声が大きくなっています。今後の見通しとともに、もし終了なら町としての対応をどうすべきなのか。 (4) 町の取り組み姿勢によるところが大きい除染作業が三株地内で実施されました。安心安全のためにも風評被害払拭のためにも、町内で求められた場合の除染作業は今後も必要と思うが認識は。 また、食物モニタリング対策として少量測定器を購入したが、この測定器の周知及び現在までの利用状況は。

番号	質問者	質問事項	要 旨
2	4 番 佐川 勇司	<p>1. 今後の遊休農地と農業対策について</p> <p>(町 長)</p> <p>2. 町の環境維持と地域活性について</p> <p>(町 長)</p> <p>3. 3期目の町政運営と今後について</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 本年度の米価格暴落に対して生産者支援や助成の考えは。</p> <p>(2) 来年度の稲作離れが心配されますが、次年度に対して稲作生産者への支援や助成の考えは。</p> <p>(3) 町内の拡大する遊休農地に対して今後の利活用管理と景観対策は。</p> <p>(1) 緊急雇用創出事業で実施されてきた環境維持は今後も必要と思いますが町独自として今後の対応は。</p> <p>(2) 地域の頑張る活性化団体への支援事業は今後も町活性化に大きく期待できる取り組みと思います。今後の考えは。</p> <p>(1) 3期12年の町政運営を踏まえ、今後の課題は何か。</p> <p>(2) 3期目の公約で、任期中に実現できなかった政策についてどう考えるか。</p> <p>(3) 4期目の町長選出馬の考えは。</p>
3	3 番 佐藤 弘信	<p>1. 防災無線の改修について</p> <p>(町 長)</p> <p>2. 森林・林業の町としての地域おこしについて</p> <p>(町 長)</p>	<p>(1) 現在の防災無線で町民から、機材の不具合、聞こえづらいといった苦情はあったか。</p> <p>(2) 無線システムの老朽化は、具体的にはどのような点があるか。</p> <p>(3) 無線システムのアナログからデジタル化にすることによって、どんな利便性があるか。</p> <p>(4) 今年8月に制定された、古殿町地域防災計画の防災無線の整備に関する件で、通話秘話性の確保や画像や映像等のデータ転送等、防災通信を高度化するために、デジタル式防災無線の導入を促進すると盛り込まれています。防災無線システムをアナログからデジタル化に移行する計画を、どのように進めるのか。</p> <p>(1) 今年度、地元産材を利用した製品を開発したいということですが、どのような進行状況か。</p> <p>(2) チェーンソーアート作成および競技会の開催も森林の町として注目をされています。今後も取り組んでいくのか伺います。</p> <p>(3) 林業の町をアピールするために、木の板を用いたファイルを製作し町内に広める、木の板に印刷・彫刻出来る機械を導入して、卒業証書のレプリカを作ったりイラストや文字を彫り込む。 木工キットを企画・開発する等いろいろあると思うが、イメージアップの取り組みをどのように考えるか。</p>

番号	質問者	質問事項	要 旨
4	1 番 緑川 栄一	1. 古殿町民第一体育館の改築及び町公民館の改修計画は (町 長・教育長)	(1) 判定結果による使用制限は。 (2) 現在使用している団体及び、地区公民館等への説明は。 (3) 解体の時期は。 (4) 公民館改修工事の執行は。
5	5 番 高木 節男	1. 主要事業の執行評価と次年度の重点事業について (町 長)	(1) 今年度の主要事業の執行評価は。 (2) 今年度の事業の執行で先送りされる事業は。 (3) 予算編成の町長の基本的な考え方は。 (4) 予算規模の総額と財源の見通しは。 (5) 次年度の主要事業は。
6	1 1 番 佐藤 一夫	1. 高齢者世帯の安心・安全対策について (町 長)	(1) 高齢者世帯の増加に伴い、自治体に対する期待と役割が大きくなっていくが、このような状況に対してどのような認識と対応を考えているか。
		3. 平成27年度予算の編成について (町 長)	(1) 公共工事・投資について新規事業はあるか。 (2) 福祉・住民サービスの中で、介護保険事業の改定に伴う取り組みと、公有地の福祉施設利用の考えは。 (3) 学校教育・社会教育の重点施策は。 (4) 農工商業対策について、活性化策の考えは。 (5) 地域活性化対策については、県の支援があった「がんばる地域活性化事業」が終了するが、町の考えは。
7	2 番 鈴木 一郎	1. 26年度の主要事業の進捗状況について (町 長)	(1) 千年の森育成事業、間伐事業の実施状況は。 (2) ふくしま森林再生事業の取り組み状況と来年度の計画内容は。 (3) 町産材を活用した商品開発の状況は。 (4) こども園背後の環境整備調査実施に伴う計画内容は。 (5) がんばる地域活性化支援事業が今年度で終了することだが、新たな支援策は。 (6) 中山間事業の才竜内地内の水路整備と荷市場から古内間の農道の実施状況は。
8	8 番 木戸 久康	1. こども園の経費と雇用人数は (町 長・教育長)	(1) 25年度迄の保育所、幼稚園の経費と、こども園の現在迄の経費の比較は。 (2) 正職員、臨時職員、給食に携わる人数は何人か。 (3) 栄養士はいるのか。 (4) 給食食材の購入はどうなっているか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
		2. 補助金制度を緩和できないか (町 長)	(1) 企業立地助成補助金制度とは別に、農林・工業・商業等小さくてもやる気のある方にも、助成すべきと思うが考えはあるか。
		3. 公民館、第一体育館の計画はどうなっているのか (町長・教育長)	(1) 26年度の当初予算に計上されながら審議前に取り下げとなり、その後なんの進展もないまま今月2日に体育館は閉鎖されたが、これまでの一連の流れについてどう考えているのか。
9	10番 関根 角男	1. 被害が激増するイノシシ対策について (町 長)	(1) 今後イノシシの被害を防止するため、どのような施策を考えているのか。 (2) 狩猟登録者確保のための施策はどのように考えているのか。 (3) イノシシ捕獲に対してもどのような支援を予定しているか。 (4) 駆除隊、実施隊、捕獲隊の違いはどうか。
		2. スクールバス運行状況と今後の見通しについて (町 長・教育長)	(1) 田口松森、鎌田滝、大久田大平草、定期バス利用の座席確保等の解決は、どのように成ったのか。 (2) 5年間の債務負担行為があと1年と成りましたが、その後はどのような方法で業者を選択契約する考えなのか。 (3) 現行のバス運行コースで変更の必要はないのか。又、コース変更によって経費の節約は出来ないか。